

平成30年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率について

■健全化判断比率

4つの指標すべてにおいて、早期健全化基準を下回っています。

平成29年度から、実質公債費比率は0.5ポイント改善しました。

(単位:%)

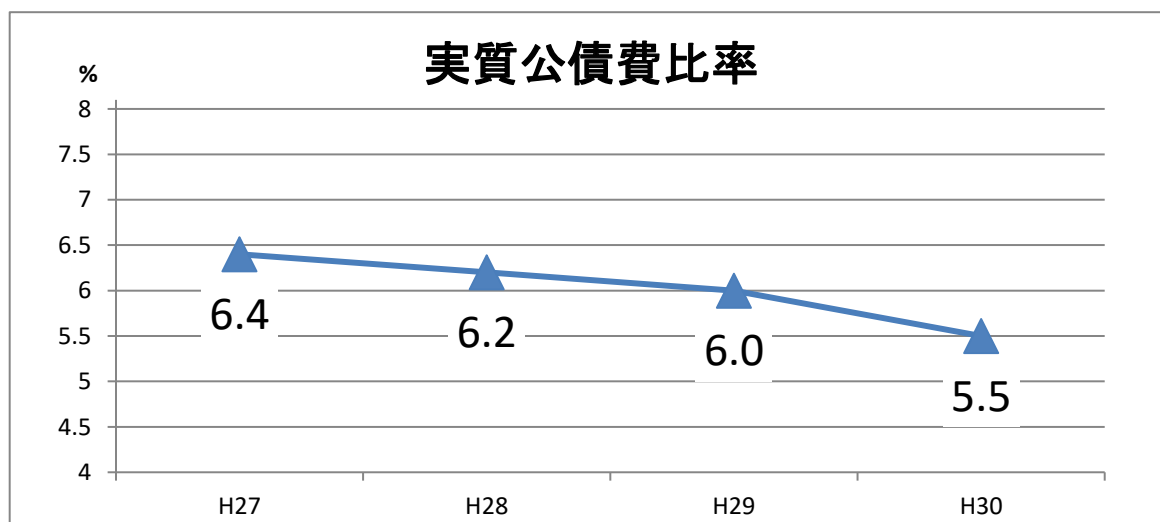
指標名	早期健全化基準	平成30年度	平成29年度	平成30年度－平成29年度 (ポイント)
実質赤字比率	12.12	—	—	—
連結実質赤字比率	17.12	—	—	—
実質公債費比率	25.0	5.5	6.0	▲ 0.5
将来負担比率	350.0	—	—	—

※1 実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は算定されないため、「—」を記載しています。

※2 早期健全化基準は、平成30年度決算に基づく数値です。

※3 用語の意味は、「用語解説」を御覧ください。

○実質公債費比率の推移



■資金不足比率

資金不足額(赤字額)はありません。

(単位:%)

会計名	経営健全化基準	平成30年度	平成29年度	平成30年度－平成29年度 (ポイント)
水道事業会計	20.0	—	—	—
下水道事業会計		—	—	—
農業集落排水事業特別会計		—	—	—
加須都市計画事業野中土地 区画整理事業特別会計		—	—	—

※ 資金不足額がないため、「—」を記載しています。